

テーマ：『 ビオトープ川の生物観察と自然環境の大切さを知る 』

私立 伊勢原白百合幼稚園

Tel. 0463-94-1192

担当 山下 絢子

者：



父母・園児達とビオトープ川造り



園児達の魚の放流



楽しかったホタル祭り



おひさま発電所ができました

■実践内容： 1、井戸を掘り、地下水をポンプで汲み上げて川の流れを作った。 2、父母、先生、園児たちが参加しビオトープ川を園地内に造り、草木類の植え付けも行なった。 3、メダカ、ドジョウ、ハヤ、シジミ、タニシ、カワニナ、等の説明と勉強を園児と一緒にし、園児に放流させた。 4、園地にホタル飼育舎を建築し、ホタルの幼虫を園児達が放流、ホタルの飼育を行なう。 5、ホタル観察会(ホタル祭り)を6月6日から15日まで実施。園児、卒園児、家族、近隣の住民等約2,000名が来場され多くの方々に喜んでいただけた。 6、ビオトープ川隣接地に天然芝の植え付けを行い緑地の増加を図った。 7、芝生や水辺に集まる水鳥等の観察を行なう。 8、園児達が田植え、稲刈り、サツマイモ、玉ネギ、馬鈴薯の植え付けと収穫を行なった。 9、おひさま発電所(太陽光発電)を作り、ビオトープ川に水を汲み上げ自然の力の偉大さや大切さを学んだ。 10、水質検査を秦野保健所に依頼し実施、水の安全を確認。災害時の緊急用水として地域からも期待される川となった。

■実践成果： 1、園児たちが自らの手で魚や貝類、ホタルの幼虫に触れながら放流したり、ビオトープ川や芝生に集まる鳥たちを見て、生き物への関心や興味、親しみを持つようになった。 2、ホタルの飼育、ホタル鑑賞会等により、ホタルの不思議さや美しさを感じるだけでなく、自然環境の維持や発展、また自然環境に対する感性を養い自然と共生することの大切さを学ぶことが出来た。 3、おひさま発電所設置により、太陽光から自然の力の大きさや不思議さを学べたこと。 4、伊勢原市や近隣住民の方々から災害緊急時には、おひさま発電による水の提供が期待され、当園もそれに応えることになった。

■実践ポイント： 1、ビオトープ川へメダカ、ドジョウ、シジミ、タニシ、カワニナ等の放流や、ホタルの飼育と観賞を通じて、園児ばかりでなく先生方、父母にも自然に親しみ環境の維持や発展、自然と共生することの大切さを学ぶことに重点を置いた。 2、地球温暖化ガス半減

と、科学することの大切さ、太陽光エネルギーの偉大さを園児達は、おひさま発電を通じて学ぶこと。